リーダーたちの本棚 VOL.85
Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

L【率いる】Leading

新型車が続々登場 躍進が期待できる年

「30年あまり勤めた日産自動車を出て、アウディに入社しました。アウディは、以前から元気のある高級ブランドとして注目していました。改めてすべての車種に乗り、商品力の高さを確信しました。企業人人生の集大成として、持てる情熱のすべてを注ぎたいと思っています」

斎藤徹社長は、長く海外販売に従事。ロシアでは販路開拓に大きく貢献し、日産の10数万人にのぼる社員の中からただ1人選ばれる社長賞を獲得。その後、高級ブランド部門を統括した。こうした経験を、アウディでどのように生かしていくのか。

「クルマという商品は、ハードの確かさはもちろん、お客様の信頼や安心を守り続けることが重要で、プレミアムブランドは特にそれが問われる。インフィニティを担当していた時には、ブランドマネジメントの難しさと醍醐味の両方を経験しました。培ったノウハウはアウディにおいても大いに生かせるはず。また、海外販売ではヨーロッパエリアも担当したので、アウディドイツ本社の考え方を理解し、異文化のスタッフと協調していくのは難しくありません。そうしたことも自分の強みだと思っています」

アウディは今年、新型車の投入が相次ぐ。2月には8年ぶりにフルモデルチェンジした主力セダン「A4」を発売。3月には10年ぶりにフルモデルチェンジした新型SUV「Q7」を発売し、入荷待ちとなるほどの人気を得ている。4月にはステーションワゴン「A4アバント」を発売。また、7月にはフルモデルチェンジするスポーツカー「R8」のデリバリーを開始。「R8」は自動車レース「SUPER GT」で雄姿を見せている。

「商品の鮮度が上がる今年は、過去最高だった一昨年の31,413台を上回る台数の販売を目指しています」

アウディを憧れのブランドに

日本の登録車マーケットにおける輸入乗用車のシェアは約9%、うち70%以上をドイツ車が占める。ドイツ車の中でアウディは4番手だ。市場参入が遅かったためで、伸びしろは大きいと斎藤さんは言う。

「アウディのクルマは、見えないところまで生真面目に作り込んでいる。デザインはシンプルで無駄がなく、それでいて主張があり、飽きがこない。心の豊かさの追求とともにミニマリズムに価値を置く人が増えている中、アウディの機能美は一層注目されていくでしょう。イノベーティブな技術にも注目して欲しい。アウディの商品力を持ってすれば、ドイツ車のトップは十分狙えると考えています」

今後は、ブランドバリューの発信を強化し、販売店の拡充や、ブランドコミュニケーションを進めていく。

「リーダーとしてのビジョンは、日本のクルマユーザーに、『アウディに乗りたい、アウディが欲しい』と切望してもらえるような憧れのブランドに育てること。ビジョンを社員やディーラーとシェアし、実現を目指します」

ウェブ広告朝日
■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、斎藤 徹さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告 検索

アウディ ジャパン 代表取締役社長
斎藤 徹（さいとうとおる）さん

1960年東京生まれ。82年慶應義塾大学経済学部卒。同年日産自動車入社。主に海外事業部門でキャリアを積み、日産ロシア社長、日産ヨーロッパ上級副社長、インフィニティ部門統括執行役員などを歴任。オーテックジャパン代表取締役最高執行責任者（COO）を経て、2015年4月アウディ ジャパン販売代表取締役社長に就任。16年1月から現職。

R【読む】Reading

読書を通じて駐在国の理解を深めた

今年1月にアウディ ジャパンの社長に就任した斎藤徹さん。自動車業界で長くキャリアを積み、海外にのべ12年間在住するなど、キャリアのほとんどを海外事業部門で過ごした。「海外の人たちと一緒に仕事をするのは楽しく、自分の性格に向いている。読む本も、異国の文化や人との交わりから生まれたストーリーにひかれます」

好んで読んだのは異文化交流の物語

アウディに入る以前は、海外勤務が多かったせいか、異文化交流について書かれた本を好んで読んできました。白石一郎の『南海放浪記』、司馬遼太郎の『坂の上の雲』、井上靖の『天平の甍』などです。ロシアに駐在していた時には、ロシア人の価値観を理解するために、ドストエフスキーやトルストイといったロシア文学の数々や、ロシア事情に精通した米原万里氏、佐藤優氏の著書などを読みました。

井上靖の『おろしや国酔夢譚』を読んだのもロシア駐在時。江戸時代にロシアの地に漂着した日本人船員たちの艱難辛苦（かんなんしんく）を描いた物語です。厳しい寒さで衰弱死する者や、ロシア正教の洗礼を受けて現地に帰化する者がいる中で、エカチェリーナ2世との対面を果たし、帰国を実現させた主人公、大黒屋光太夫。その望郷の念と不屈の精神に胸を打たれました。

ロシアでの職務は、現地法人の立ち上げと、販路の開拓でした。当初の日本人社員は私一人。現地で部下を探すことから始めねばなりませんでした。苦労もありましたが、ロシアの社員は総じて有能で、頼りになりました。おかげで販路は拡大し、年間MVPにあたる社長賞をいただきました。ロシア人の考え方を理解し、現地社員と信頼関係を築けたことが大きかったと思います。

高校、大学と、登山部に所属していました。読む本も山に関するものに興味が行き、新田次郎の山岳小説や、アルパインスタイルの草分けとして知られるガストン・レビュファの『星と嵐』に感銘を受けました。近年は、山岳や自然に関する名著を文庫化しているヤマケイ文庫に親しんでいます。その原点と言える田部重治の『山と溪谷』は、再読して改めて貴重な内容だと感じました。田部さんが登山家として活躍したのは、大正から昭和初期にかけて。まだ観光地化されていない、自然そのままの日本の山々の姿がうかがえます。田部さんは、奥秩父の原生林を愛し、生き生きと描写しました。奥秩父は、東京育ちの私が、奥多摩と並んで親しんだ山々。著者とともに歩いている気分で文字を追いました。登山は今も趣味で、3月の連休には、雪が残る八ケ岳の赤岳に登りました。責任ある立場ですから、綿密な登山計画を立てます。そのプロセスも含めて、自分の心と向き合えるいい時間です。

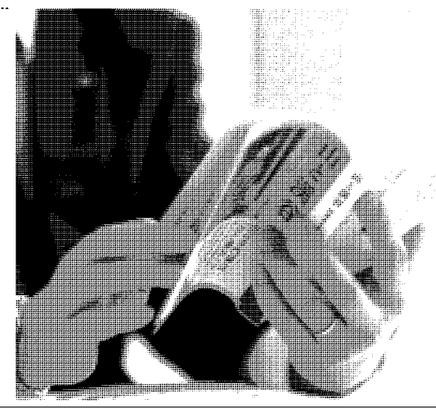
佐藤一斎に触発され「敬挑」の造語を贈る

佐藤一斎の『言志四録』は、何かの本で「西郷隆盛が座右の書として愛誦（あいしょう）した」と書いてあるのを読み、手に取りました。「三学戒」など、箴言（しんげん）が続きます。目に留まったのは、「敬を以てして、以て人を安んじ（敬意が人の心に安定をもたらす）」という一節。ふと「敬挑」という造語を思いつき、アウディの最優秀ディーラーの授賞式で、この言葉を書いた色紙を贈りました。自動車メーカーの成長を支えているのは、お客様に接するディーラーであり、彼らへの敬意こそがアウディ周辺の人々に安定をもたらすと考えたからです。「挑」の字には、上位メーカーにアグレッシブに挑戦する、との思いを込めました。この言葉は社長室にも飾っています。

『イノベーションのジレンマ』は、革新的で顧客の意見に敏感な組織と評価された企業が、その成功体験にとらわれるあまり技術革新を無視し、新たなイノベーションの機会を逃してしまう可能性を指摘しています。自動車産業にもあてはまることで、近年は特に、自動運転や人工知能（AI）の進化、IT企業を中心とする第三勢力の参入など、新たな動きが国内外で見られます。社の遺産が大きいほど、リーダーの先見の明と思い切りの良さが問われる。そんなことを考えさせられた一冊です。

それから、『2052 今後40年のグローバル予測』も紹介します。資源の枯渇、環境汚染、生態系の破壊、異常気象などの問題点を提起し、今できることは何かを問う書です。「温暖化によりヨーロッパの勢力は北に移動し、スコットランドは繁栄してイギリスから独立する」といった予測の数々は衝撃的でした。製造業に関わっている以上、環境負荷の問題は無視できません。ましてや自分は、山登りを楽しみ、自然の恩恵を肌で感じてきた人間。戒めとして本書を読みました。

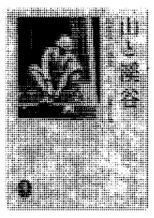
今の時代は、書店に並ぶ本の入れ替わりが激しい上、情報があまりにも多く、自分に合う本のチョイスが難しい。だからこそ良書との出合いは喜びであり、常に探し続けています。（談）



斎藤 徹さんのおすすめ本棚

『おろしや国酔夢譚』
（文春文庫）井上靖・著

「神昌丸」の乗組員17人が漂流の末にたどり着いたのは、ロシア帝国の属領の島。10年に及ぶ流浪の暮らしや大黒屋光太夫のリーダーシップを描く歴史長編。

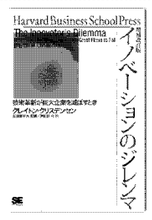


『山と溪谷 田部重治選集』
（ヤマケイ文庫）田部重治・著

山岳文学の古典『山と溪谷』が、新たな編集の目で精選されて文庫本として復刻。山岳専門雑誌『山と溪谷』のルーツとなった、先駆的登山と思索の道程。

『［現代語抄訳］言志四録』
（PHP研究所）
佐藤一斎・著　岬龍一郎・編訳

佐久間象山、中村正直、山田方谷、西郷隆盛など、幕末・維新の志士たちに思想的影響を与えた佐藤一斎の名著を、編訳者の解説とともに現代人向けに抄訳。



『イノベーションのジレンマ 増補改訂版 技術革新が巨大企業を滅ぼすとき』
（翔泳社）クレイトン・クリステンセン・著
玉田俊平太・監修　伊豆原弓・訳

トップ企業が、顧客の声を聞き、新技術に投資しても、なお技術や市場構造の破壊的変化に直面した際、優位性を失ってしまう現象に明確な解を与える書。

『2052 今後40年のグローバル予測』
（日経BP社）ヨルゲン・ランダース・著
野中香方子・訳

持続不可能な方向に進んでいる地球に対し、人類がどんな行動をとるのか、とらないのか。30以上の分野にわたる世界の識者の見解をふまえ、未来を予測。

三笠書房
千代田区飯田橋3-3-1
◎詳細は⇒http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899
(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
三笠書房BOOKSTOREで立ち読みができます!!
http://www.mikasabooks.jp

知的生きかた文庫
行ってはいけない外食
7万部
フードプロデューサー/一般社団法人日本オーガニックレストラン協会代表理事 南 清貴
飲食店の「裏側」を見抜く!
ISBN978-4-8379-8402-3 ●定価(本体630円+税)
■サクッとした揚げ物の正体とは?
■ネギトロの材料は「もはやマグロではない」
■精米改良剤入りご飯は「洗剤を食べているようなもの」!? ……etc.
これでも「安さ」で選びますか?

迷いながら、強くなる
羽生善治
最新刊
稀代の天才が語る——恐れや不安を乗り越え、勝ち続けるための思考法
ISBN978-4-8379-8411-5 ●定価(本体580円+税)

王様文庫
世界の名画 仕掛けられたメッセージ
最新刊
博学面白倶楽部
ISBN978-4-8379-6784-2 ●定価(本体700円+税)

いつも幸運な女性の「365日のエレガンス」
浅野裕子
Hiroko Asano
最新刊
「エレガントに生きる」と、毎日「うれしい変化」が続く!
ISBN978-4-8379-2634-4 ●定価(本体1300円+税)

日めくり まいにち、太らない! 老けない! 食べ方
三愛病院医学研究所所長 西台クリニック院長 済陽高穂
テレビで大反響!! 35万部突破のベストセラー 待望の日めくり!
ISBN978-4-8379-3700-5 ●定価(本体1100円+税)

鶴野充茂
「結論で始まり、結論で終わる」——それだけで、わかりやすくなる!
8万部突破!!
今日、結果が出る!
図解 頭のいい説明すぐできるコツ
「1分間で信頼される人」の話し方
●「大事なことが3つあります」——冒頭で大事なことを言う
●エレベーター・ピッチ——「1分間で上手に説明する」法
●説明上手な人は、例外なく「語尾」がハッキリしている!
●「でも」「けど」……頭のいい人ほど「逆接」が少ない!
●できる人ほど「自分の本気」を伝えようとする!
「説明能力」が、そのまま「仕事能力」になる!
50万部突破のベストセラー、待望の図解版!
ISBN978-4-8379-2626-9 ●定価(本体1100円+税)

最新刊
アーノルド・ベネット
渡部昇一 訳・解説
自分の時間
1日24時間でどう生きるか
世界中の一流人が刺激を受けた幸福に生きる「時間術」!
◆「情熱と活気に満ちた1週間」をつくる秘訣
◆「知的エネルギー」はどうやって生まれてくるのか
◆読書好きなあなたへ——人生に大きな「利息」を生むアドバイス
◆「1週間」を6日として計画する
◆自分の精神・肉体を養うための「内なる1日」
佐藤 優氏推薦!!
作家・元外務省主任分析官
『時間を征する者が人生の成功をつかむ!
この本でベネットがすすめる方法をいくつか実践するだけで、あなたの人生が確実に変わる。』
朝目覚める。するとあなたの財布には、まっさらな24時間がぎっしりと詰まっている。
ISBN978-4-8379-5764-5 ●定価(本体1200円+税)